

JICA 留学生在が奈良県十津川村で持続可能な観光を学ぶ！

－「奈良県十津川村から学ぶ持続可能な観光と発展」10月12日～13日開催－

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は、2023年10月12日（木）～13日（金）に奈良県十津川村において、JICA 留学生* を対象に「奈良県十津川村から学ぶ持続可能な観光と発展」と題したプログラムを実施します。

このプログラムは JICA 留学生在が関西圏の歴史や文化、地域の理解を深め、母国の発展に生かすことを目的とした「地域理解プログラム」の一環として実施するものです。

奈良県十津川村は2018年度 SDGs 未来都市に選定されており、「十津川村 SDGs 未来都市計画」を公表しています。その中で2030年のあるべき姿として「林業・観光業を中心に自立する村」、「知恵や技術、文化が継承される村」、「自然と共生する暮らし」を掲げており、十津川村では自然との共生を軸にした SDGs 達成を目指す取り組みを多く実施しています。

今回のプログラムでは、関西地域の JICA 留学生在 15 名が十津川村を訪問し、自然を活かした地域活性化の取り組みとして「ディスカバー農山漁村の宝アワード」など様々な受賞歴を持つ「空中の村」や、元地域おこし協力隊のリムステッド・ブランドン氏による棚田の再生など、十津川村における持続可能な観光と発展を実現するための試みを学びます。なお、奈良県十津川村でのプログラムは、昨年度に続き、2回目です。

日英の通訳も同行しますので、ぜひ取材をご検討ください。取材をご希望の場合、10月11日（水）17時までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。各イベントの詳細な開催場所については取材をご希望の方にご連絡させていただきます。

* JICA留学生在：開発途上国からJICAの人材育成プログラムで来日し、日本の大学（修士課程あるいは博士課程）で学んでいる留学生在。JICA留学生在は、自国の行政官、研究者、民間企業出身者などバックグラウンドは様々ですが、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の近代化の歴史を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。現在、アジア、アフリカ、中南米など出身の約260名のJICA留学生在が関西地域の12の大学の大学院で学んでいます。



<「奈良県十津川村から学ぶ持続可能な観光と発展」基本情報>

日時: 2023年10月12日(木)~10月13日(金)

実施場所: 奈良県十津川村内

参加予定者: JICA 留学生 15名 (出身国: フィリピン、ベトナム、カンボジア、タジキスタン、キルギス、エジプト、モロッコ、タンザニア、ガーナ、南アフリカ、メキシコなど)

10月12日(木)

時間	内容
11:50~13:50	・ 谷瀬の吊り橋見学 ・ 元地域おこし協力隊 角田華子氏による講義 (十津川村概要説明) ・ 谷瀬の集落見学 ・ 移住体験施設見学
14:30~16:30	・ 十津川村の盆踊り体験
17:15~	・ 空中の村代表ジョラン・フェレリ氏講義および施設見学 (宿泊)

10月13日(金)

時間	内容
8:00~9:00	・ 空中の村施設見学
9:30~12:30	・ 元地域おこし協力隊 リムステッド・ブランドン氏講義 (棚田の再生と無農薬農業の取り組み、古道の再生) ・ ブランドン氏の棚田で稲刈り体験
14:15~15:15	・ 十津川村役場 企画観光課とのディスカッション

- ・ 悪天候に予想される場合はプログラム全体が中止になる可能性があるほか、プログラム実施中に悪天候によって、各イベント内容が変更する可能性があります。
- ・ バスによる移動のため、各行程の時間は多少前後する可能性があります。
- ・ メディア関係者の皆様におかれましては交通手段をご自身で手配いただきたく存じます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 開発大学院連携課 三浦眞暉
TEL: 080-7144-6036 e-mail: Miura.Maki@jica.go.jp